

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式													
E142E013	近代文学研究 (Studies in Modern Japanese Literature)																			
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員														
選択	2	4	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 藤原 耕作 E-mail fujiwarakosaku@oita-u.ac.jp 内線 7533														
授業の概要	近代文学研究では、日本の近代文学作品の中から、十分研究されてきている作品だけでなく、あまり研究の蓄積のない作品も取り上げ、文学作品の研究が実際にどのようなされるのかを講義する。それを通して、作品研究の応用力を養っていく。ここでは昭和21(1946)年の石川淳の文業を素材とする。																			
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	日本の近代文学についての、やや高度な調査方法や研究手法を学ぶ。																			
目標2	課題やレポートによって学んだ研究手法を実践する。																			
目標3																				
目標4																				
目標5																				
目標6																				
目標7																				
目標8																				
目標9																				
目標10																				
授業の内容																				
1	はじめに 今期の予定																			
2	燃える棘																			
3	かよひ小町 1																			
4	かよひ小町 2																			
5	いすかのはし																			
6	雪のイブ																			
7	処女懐胎 1																			
8	鷗外に関する対話																			
9	処女懐胎 2																			
10	うまやばし																			
11	処女懐胎 3																			
12	処女懐胎 4																			
13	処女懐胎 5																			
14	処女懐胎 6																			
15	飛梅																			
ラーニング	A:知識の定着・確認	課題によって知識の定着・確認をはかる。										工夫 その他								
	B:意見の表現・交換	講義後に毎回意見交換の時間をもうける。																		
	C:応用志向																			
	D:知識の活用・創造																			
時間外学習の内容と時間の目安	準備	取り上げる作品を読み、疑問・感想・意見などを課題のプリントに記す。																		
	学修	取り上げる作品について、基礎的な調査をする。(20h)																		
	事後	講義を受講して、あらためて作品を読み直し、疑問・感想・意見などを課題のプリントに記す。(25h)																		
	学修																			
教科書	プリントを配布する。																			
参考書	講義時に適宜指示する。																			
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10								
	課題	10%																		
	意見交換	10%																		
	レポート	80%																		
注意事項	なし																			
備考	なし																			
リンク																				
	URL																			